

# 看護学教育評価検討委員会

## 「看護学教育評価検討委員会」

### 1. 構成員

#### 1) 委員

委員長 高橋真理（北里大学）

委員 金川克子（神戸市看護大学）、中村慶子（愛媛大学）、前原澄子（京都橘大学）、  
村嶋幸代（東京大学）、村本淳子（三重県立看護大学）、

オブザーバー 小山田恭子（文部科学省）

#### 2) 協力者

ワーキングメンバー 上野栄一（福井大学）、叶谷由佳（山形大学）

高田早苗（京都橘大学）、柳修平（東京女子医科大学）

香取洋子（北里大学）、中山栄純（北里大学）

協力者 中井泉（北里大学）、小泉雅也（北里大学）

### 2. 趣旨

看護系大学の学士課程・大学院の教育の質を高い水準で保証するために、日本看護系大学協議会として、具体的な評価内容と評価方法、およびどのような評価組織を構築していくかを検討する。平成 17 年度から「看護学教育評価機関検討委員会」では、認証評価の動向を踏まえながら、検討を重ね、平成 19 年度、20 年度には、文部科学省大学評価研究委託事業「看護学専門領域の評価基準・評価体制の開発研究事業—看護系大学・大学院の質向上システムの構築を目指して」として、学士課程、大学院評価基準の作成、試行評価、評価者育成のための研修会、シンポジウムを実施し、看護系大学協議会による評価体制の構築を目指してきた。さらに、平成 21 年度も文部科学省「大学における医療人養成推進等委託事業」の委託を受け、看護系大学の看護学専門領域における評価者システムの構築、評価項目基準の明確化、試行評価に基づく改善方法の提示について更なる検討を重ねた。特に、大学機関別評価との識別から、評価項目・基準案を一部精選し、コア・カリキュラムとの連動を念頭におき、これら看護学専門領域の評価事業を実施するプロセスを通して、看護系大学教員の質向上システムの構築を目指していく一助となることを目標にしてきた。なお、本委員会も平成 22 年度から常設委員会として「看護学教育評価検討委員会」に名称を変更し、看護系大学の教育の質保証における専門分野別評価の構築を目指して、更なる活動を展開している。

### 3. 活動経過

#### ① 学士課程評価基準項目案の再精選

- ② 学士課程専門実施要綱案の検討
- ③ 平成 21 年度、平成 22 年度「看護学専門分野における学士課程評価基準」に関するアンケート調査のまとめ
- ④ 研修会開催

平成 23 年 3 月 5 日（土）13 時～16 時半 東京 北里大学白金キャンパス 薬学部 1 号館 1501 講義室に於いて、看護学教育評価検討委員会・高等教育行政対策委員会「コアカリキュラム検討委員会」合同主催による研修会を開催した。なお、テーマは「学士課程における看護学教育の質の保証-コアとなる看護実践能力と教育効果」であり、プログラムは教育講演Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと本委員会の活動報告などである。

#### 4. 今後の課題

日本看護系大学における看護学評価組織の構築を図り、来年度末には学士課程の評価を数校実施できるよう、準備を進める予定である。また、将来的には、認証機関による評価に繋げていくことを目指したい。

#### 5. 資料

- ①The Essentials of Master's Education for Advanced Practice Nursing 2010 の日本語訳への取り組み（現在進行中）
- ②「看護学教育評価検討委員会 平成 22 年度 報告書」の作成と各会員校への配布  
なお、活動の詳細については、本報告書を参照してください。